

国立競技場

2013.5・6
Vol.597



新国立競技場基本構想
国際デザイン・コンクール表彰式

IOC 評価委員会視察



カール・ルイス氏来場



霞ヶ丘競技場
東テニス場
リニューアル

NEW NATIONAL
STADIUM JAPAN

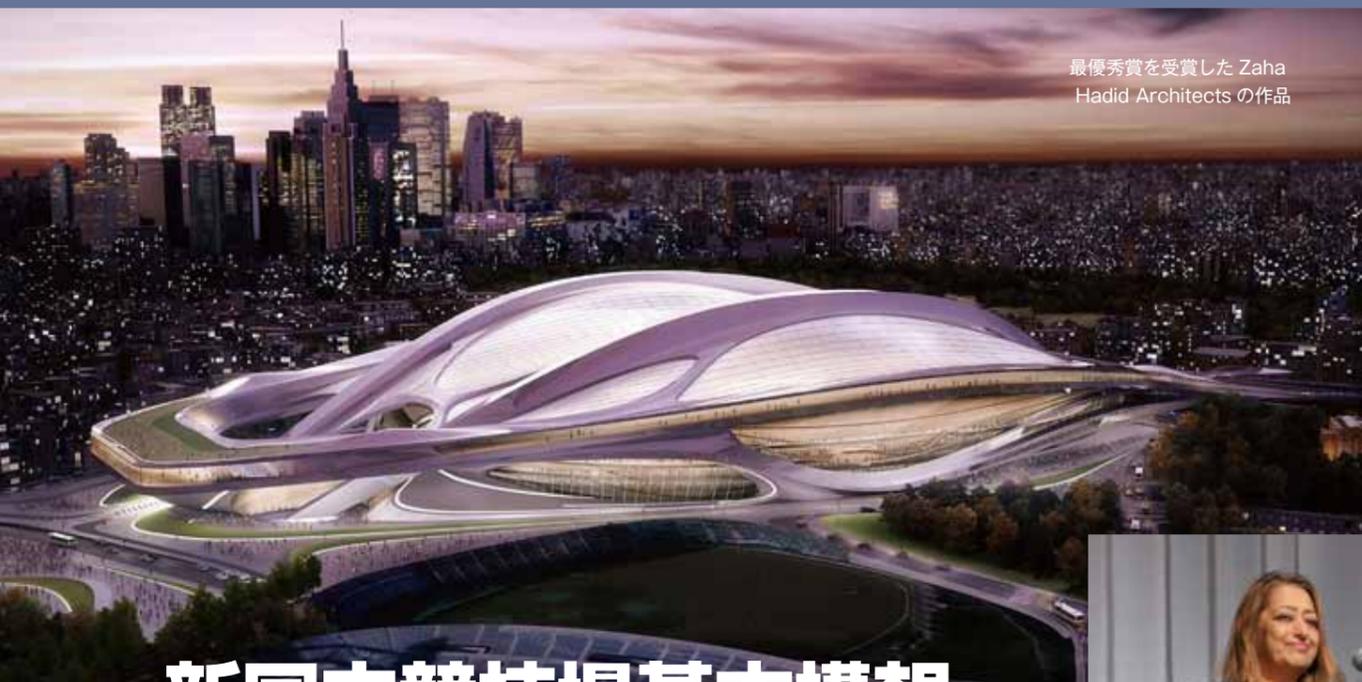
NEW NATIONAL STADIUM



国立登山研修所
冬に開催した研修事業



スポーツ博物館
新しい Web サイト公開



最優秀賞を受賞した Zaha Hadid Architects の作品

新国立競技場基本構想 国際デザイン・コンクール 表彰式



Zaha Hadid (ザハ・ハディド) 氏

2013年3月19日、新国立競技場のデザイン案を決める『新国立競技場基本構想国際デザイン・コンクール』で最優秀賞に選ばれた Zaha Hadid Architects (ザハ・ハディド アーキテクト) の代表である Zaha Hadid (ザハ・ハディド) 氏をお迎えして、表彰式を開催しました。

新国立競技場基本構想国際デザイン・コンクール 概要

1964年の東京オリンピックのメイン会場をはじめ、およそ半世紀にわたって日本のスポーツの聖地として多くの名勝負の舞台となってきた国立競技場。

日本で開催される2019年ラグビーワールドカップや、現在招致を目指す2020年オリンピック・パラリンピックのメインスタジアムと位置づけられることを踏まえ、国立競技場の将来構想について審議する「国立競技場将来構想有識者会議」(佐藤禎一委員長)が2012年、日本スポーツ振興センターに設置されました。

新しい競技場は、オリンピックはもとより、球技・陸上などの大規模な国際大会開催を可能とし、また、文化・スポーツの拠点となるよう、次世代型スタジアムとして、世界に誇れる新スタジアムの創造を期待して、広く世界からデザイン案を募集するため国際デザイン・コンクールを実施することを同有識者会議で決定し、昨年7月20日にデザイン・コンクールを開始しました。

デザイン・コンクールの応募期間は短期間でありましたが、ヨーロッパ、アメリカ、アジアをはじめ世界中から46点ものすばらしいデザインが集まりました。

審査は、建築家安藤忠雄氏を委員長とする「新国立競技場基本構想国際デザイン競技審査委員会」において実施し、



プレゼンテーションの様子

最優秀、優秀、入選の3作品を選出、2012年11月15日に開催した「国立競技場将来構想有識者会議(第3回)」において受賞が決定しました。

最優秀賞に選ばれたザハ・ハディド氏の作品は、スポーツ

の躍動感を思わせる流線型の斬新なデザインであり、その圧倒的な造形性で高い評価を得ましたが、何より「世界に日本の先進性を発信し、優れた建築環境技術をアピールできるデザイン」であることが決め手となりました。

表彰式

表彰式では、はじめに日本スポーツ振興センター理事長の河野一郎から主催者として挨拶をさせていただいた後、佐藤禎一委員長、2020年オリンピック・パラリンピック日本招致議員連盟幹事長の遠藤利明氏、本デザイン・コンクール審査委員長の安藤忠雄氏の3氏からそれぞれご挨拶を賜りました。

その後、ザハ・ハディド氏の表彰を行いました。河野理事長から記念のトロフィーを授与させていただき、ザハ氏からは『賞をいただけて本当にうれしい。このプロジェクトに参加できたことを嬉しく思い、また誇りに感じる』との言葉をいただきました。

表彰式に続き、ザハ・ハディド氏のプレゼンテーションが



トロフィーと模型

行われました。完成後がとて楽しみになるようなムービーを使用したプレゼンテーションで、新しいスタジアムのデザインに込めた想いを語っていただきました。



左から、河野一郎、安藤忠雄、ザハ・ハディド、佐藤禎一、遠藤利明 (敬称略)

国際デザイン・コンクールはこれが一区切りとなりますが、これからが新国立競技場の本当のスタートです。

新国立競技場は、『未来に向けたメッセージ』です。『世界でいちばん行きたくくなるようなスタジアムを日本人みんなで創る。スポーツの力で世の中をもっと良くするために』これからも新国立競技場へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、本デザイン・コンクールに携わっていただいた多くの方々に感謝いたします。

2014年、解体します。新しく「いちばん」をつくるために。



「SAYONARA 国立競技場」プロジェクト、スタート

2019年、国立競技場が新しく生まれ変わります。デザインは、グローバルかつオープンな審査の末、ザハ・ハディド氏の作品に決定しました。半世紀の間、スポーツの聖地として日本の成長とともに歩んできた現在の国立競技場。その歴史に敬意を表して、「SAYONARA 国立競技場」プロジェクトを開催したいと思います。21世紀の日本のシンボルとなる新国立競技場をみんなで創り上げていくために、現在の競技場を解体するまでの一年間、様々なイベントを通じて、みんなの気持ちをひとつにできればと考えています。新しい国立は、いちばんのスタジアムをめざします。様々な競技が行われるのはもちろん、日本の先進性を発信する場にもなるはずで、そして、人々が自然に集い、新しいコミュニケーションが生まれ、来る人すべてが幸福な時間をシェアできる、かつてない空間となるでしょう。世界でいちばん行きたくくなるスタジアムを、みんなで創る。スポーツの力で、世の中をもっとよくするために、新国立競技場、6年後の完成へ向けて、「SAYONARA 国立競技場」プロジェクト、始まります。

OUR STADIUM

新国立競技場





TOKYO 2020
CANDIDATE CITY



東京オリンピック・パラリンピック招致

● IOC 評価委員会視察

東京都が招致を目指す 2020 年オリンピック・パラリンピックの開催都市の決定に向けて、国際オリンピック委員会 (IOC) 評価委員 13 名が 3 月 5 日、国立競技場と国立代々木競技場を視察に訪れました。



「WELCOME!」の人文字メッセージ

国立競技場の視察は、現在の国立競技場の全貌が見渡せる「千駄ヶ谷インテス」という建物の 11 階で行われました。視察が始まるまでは、会場内にピンと張りつめた緊張感が漂っていましたが、評価委員が到着されると、オリンピック・パラリンピアンによるお出迎えや国立競技場敷地内に「WELCOME!」の人文字メッセージが作られるなど、おもてなしの気持ちが随所に表れており、委員の方々からも笑顔が見られました。

会場では、建設が予定されている新国立競技場の模型と見比べながら、日本スポーツ振興センター河野理事長によるプレゼンテーションが行われました。委員の方々には熱心に説明を聞かれた後、次々と質問を投げかけ、新国立競技場に非常に興味を持たれている様子でした。

なお、新国立競技場はメインスタジアムとして、開閉式、陸上、サッカー、ラグビーの会場となる予定です。

国立競技場、東京体育館を後にした委員一行は、ハンドボールの会場となる予定の国立代々木競技場第一体育館に会場されました。

第一体育館入口付近には、「2020 年オリンピック・パラリンピック開催都市決定まで あと 186 日」と表示されたカウントダウンボードを設置し、大勢の学生や関係者が集まり、委員の来場を歓迎しました。

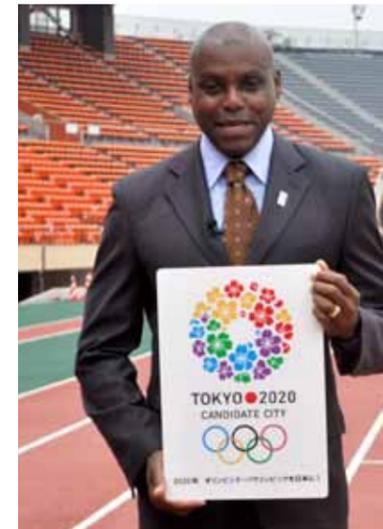
委員の方々には笑顔で関係者の歓迎に応え、第一体育館のロイヤルボックス席にて場内を視察後、次の会場へ向かわれました。



カウントダウン表示とお出迎えの学生たち



河野理事長によるプレゼンの様子



100メートルトラックの上で



1991年世界陸上優勝者銘盤前にて

4 回のオリンピックに出場し、陸上競技で 9 個の金メダルを獲得したアメリカのカール・ルイス氏が、3 月 25 日に国立競技場に来場され、2020 年オリンピック・パラリンピック招致に向けてエールをいただきました。

ルイスさんにとって国立競技場は、1991 年に開催された世界陸上東京大会において、当時の世界記録をマークして優勝された特別な想いのある場所とのことで、当時を思い出しているかのようにトラックをゆっくりと歩かれたり、世界陸上優勝者銘盤に刻まれたご自分の名前を見つけてとても嬉しそうにされていました。また、新国立競技場の模型に興味深くご覧になり、「日本のシンボルになるようなスタジアムになることを期待したい」とのコメントをいただきました。

国内外を問わず多くの人々の想いが詰まった国立競技場であること、そして、期待と希望が込められた新国立競技場であることを実感しました。

● 国立競技場にカール・ルイス氏が来場

● 2020 年オリンピック・パラリンピックを東京で!

2020 年オリンピック・パラリンピックの開催都市の決定は、9 月 7 日です。

新国立競技場に世界中から、オリンピック・パラリンピアンをお迎えできるよう、日本スポーツ振興センター (JAPAN SPORT COUNCIL) としても、招致活動を盛り上げていきたいと思っております。

就任の挨拶



国立競技場長
武本 紀夫

2 月 1 日より国立競技場長となりました。日ごろより国立競技場をご利用いただいている皆様に感謝とともにご挨拶申し上げます。

さて、私たちが単に「国立競技場」という場合、広義には陸上競技場、秩父宮ラグビー場、国立代々木競技場などの総称を意味し、狭義には単に「陸上競技場」を意味します。

このような意味の使い分けがあるのは、最初に陸上競技場の完成に合わせて特殊法人国立競技場が発足し、その他の競技施設はその後に建設されてきたという歴史由来しています。

この狭義の国立競技場は、1958 年のアジア大会に向けて建設され、大改修を経て戦後の日本復興の象徴となる 1964 年東京オリンピックのメインスタジアムとして使用されました。そして建設から半世紀を経た今、2019 年の完成を目指して「新国立競技場」として生まれ変わろうとしています。

国立競技場は、都心部で交通の便に恵まれ、かつ、公園、絵画館、銀杏並木、大規模スポーツ施設に囲まれた景観に優れた地にあります。このような長所をさらに活かした施設が完成し、世界的規模の競技大会や文化的ビッグイベントが数多く開催され、多くの人々が集い、幸福な時間を共有できる空間を提供できるようになることを楽しみにしています。

完成までの期間、多くの皆様のご支援、ご協力をいただきながら、この一大プロジェクトに取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

国立霞ヶ丘競技場 東テニス場リニューアル!

renewal



国立霞ヶ丘競技場東テニス場のクラブハウス及び一部コート改修工事が3月27日に完成し、3月30日からリニューアルして営業を開始しました。

■ ■ ■ 工事概要 ■ ■ ■

東テニス場は、前回の改修を行って約24年間経過しており建物の劣化や各種設備の老朽化が著しく、利用者の環境改善のため、更衣室及びシャワー室の内装、照明等の電気設備、空調設備及び給湯設備等の機械設備の改修工事を行いました。

また、テニスコートの1～4番コートの砂入り人工芝の張替えを実施しました。

■ ■ ■ 工事内容 ■ ■ ■

1. 建築工事

更衣室は、天井、壁及び床の内装を改修新たにカウンター式洗面器及び大鏡とダウンライトを設置しました。

シャワー室は、既設シャワーブースをシャワーユニットに改修し、シャワー室に新たにトイレ（洋式便器：1個）を設置しました。

また、更衣室・シャワー室棟の外壁はひび割れの補修を行い、吹付タイルの外装工事を行いました。

2. 機械設備工事

空調設備は、熱源システムを既存冷温水発生機方式からガスヒートポンプ方式に変更し、クラブハウス全体の冷暖房をECO全自動モード運転を行うようにしました。

また、給湯ボイラーは熱効率の良いガス焚き真空式とし、タイマー運転で営業時間に合せて連動運転を行えるものに変更、併せて貯湯槽及び循環ポンプ等も取替えました。

3. 電気設備工事

照明設備は、省エネを図るLED照明器具に、シャワー室のスイッチはセンサー付きで消し忘れ対策にも考慮されたものに一新しました。

その他、更衣室用の幹線及び電灯盤を新設しています。

4. テニスコート改修工事

テニスコートは、下地に降雨時の排水を良くする透水性の開粒アスファルト舗装を施し、人工芝は「オムニコートXP」を採用しコート内を濃い緑、コートの周囲を淡い緑と色分けし、緑色に着色された「パステルサンド」50%と特殊調整珪砂の「オムニサンド」を50%配合した2種類の砂を敷き詰めています。また、コートの周囲には砂の流失防止用として高密度人工芝舗装を行っています。さらにテニスコートのポールをステンレス製のポール（4対）とセンター金具を交換しました。

今後も皆様に利用していただきやすい施設となるよう、可能な限り対応しながら、管理運営に励んでいきます。

スポーツ博物館 博物館散歩 ～バーチャル博物館へのご案内～

今回は皆様を散歩にお誘いしたいと思います。散歩は散歩でも「博物館散歩」です。この春、当館の新しいWebサイトが完成し公開がスタートしました。日本唯一の総合スポーツ博物館である当館。“スポーツの宮様”として親しまれた秩父宮雅仁殿下に所縁ある品をはじめ、オリンピックや国民体育大会などに関する展示資料をWeb上で一挙にご覧いただけるようになりました。

1959年の開館以来、我が国のスポーツ発展の歩みや成果を展示している当館も、国立競技場の建て替えに伴い新たに生まれ変わることが予定されています。そんな背景を踏まえ、今回は「博物館散歩」というタイトルを冠し、資料や展示品をただWeb公開するだけでなく、歴史ある当館の雰囲気も味わっていただけるようなサイトを目指しました。

館内をエントランスからテーマに沿ってコーナー分けして、それぞれ展示ケースをスライド式の写真で表示し、館内をお散歩気分で歩いているかのようにゆったりと閲覧できます。さらに詳しくご覧になりたい方は、コーナーごとに設けられた注目展示解説や資料一覧ページで、約700点の展示品とじっくり向き合ってください。

2020年オリンピック・パラリンピックの東京招致活動が盛り上がっている今、このバーチャル博物館で日本スポーツ史を体現する品々と親しんでください。

●秩父宮記念スポーツ博物館「博物館散歩」
<http://www.sport-museum.jp/>



国立登山研修所 大学生登山リーダー冬山研修会

3月に国立登山研修所が開催した主催事業について紹介します。



大学において登山活動を行うクラブ等のリーダーとリーダー候補者を対象に、国立登山研修所及び大日岳周辺を会場として、3月14日から7日間の日程で開催しました。22名の研修生は、2日間「雪氷学の基礎」「登山の医学」「雪崩捜索」「入山前の天気概況について」の講義を受講し、班毎に分かれて登山研修所周辺の雪上で雪崩捜索法やロープ操作等の基本技術を習得し、大日岳に向けて入山しまし

た。入山中は、寒冷前線の通過によるめまぐるしい天気変化の中にあっても、雪崩回避のための地形判断やルートファインディング、積雪観測の手法、テント設営等の生活技術を積極的に学びました。

入山2日目は、好天に恵まれ、全班大日岳登頂に成功しました。3日目は、強風が吹き荒れる中、冬山前進基地周辺で埋没者の捜索や雪洞構築、ナビゲーション等の研修を行いました。

下山後の最終日には、「冬山の気象」の講義後、研修経験をどのようにクラブ活動、運営に活かすかをテーマに班毎に一人一人意見を発表した後、今回の研修を機に、今後のクラブ活動をいかに充実させていくかを全員でディスカッションしました。

研修生は、7日間の研修を通して、ビーコン捜索方法や搬送等の最新の技術を習得するとともに、リーダーとしてチームを安全に楽しく登山させることのできる資質を向上させました。

なお、大学生登山リーダー研修会（春山・夏山・冬山）すべての研修を修了した5名の研修生に基礎研修修了証を授与しました。

国立競技場

陸上	セイコーゴールデングランプリ陸上 2013 東京 (5/5)
サッカー	2013Jリーグディビジョン2 第14節 東京ヴェルディ vs ヴィッセル神戸 (5/12)
サッカー	2013Jリーグヤマザキナビスコカップ 第6節 FC東京 vs アルビレックス新潟 (5/15)
陸上	第92回関東学生陸上競技対校選手権大会 (5/18-19)
サッカー	ほけんの窓口プレゼンツ 藤田俊哉送別試合 (5/23)
サッカー	2013Jリーグディビジョン1 第13節 柏レイソル vs 浦和レッズ (5/26)
陸上	秩父宮賜杯 第45回全日本大学駅伝対校選手権大会 関東学生陸上競技連盟推薦校選考会 (6/30)

秩父宮ラグビー場

ラグビー	ニュージーランド学生代表来日シリーズ ニュージーランド学生代表 vs 関東代表 HSBC アジア五カ国対抗 2013 日本代表 vs 韓国代表 (5/4)
その他	第7回 青山スポーツ祭り (5/19)
ラグビー	ウィダージャパンセブンズ 2013 (5/26)
ラグビー	リボビタンD チャレンジ 2013 日本代表 vs ウェールズ代表 (6/15)
ラグビー	IRB パシフィック・ネーションズカップ 2013 トンガ代表 vs フィジー代表 日本代表 vs アメリカ代表 (6/23)
その他	郡上おどり (6/29-30)

味の素フィールド西が丘

サッカー	関東大学サッカーリーグ (5/3、6、12、18、25、26)
サッカー	アミノバイタルカップ (総理大臣杯全日本大学トーナメント) (6/8-9)
サッカー	関東社会人サッカーリーグ (6/16)
サッカー	中央・筑波定期戦 (6/29)

代々木第一体育館

コンサート	湘南乃風 ~春の上の格闘技!! 頂点を目指す挑戦者 10年目の タイトルマッチ待ってるエイドリア—ンTOUR 2013~ (5/2-3)
その他	スポーツ・オブ・ハート 2013 ~障害者スポーツを応援するスポーツと文化のコラボ レーションイベント~ (5/5-6)
体操	第67回全日本体操競技選手権大会 (5/11-12)
フットサル	フットサル日本代表 国際親善試合 (5/15)
チャリティー	第7回アジア インターナショナルオープン チャンピオンシップ (5/18-19)
バレーボール	スポーツ祭東京 2013 第13回全国障害者スポーツ大会リハール大会 (5/25-26)
フィギュアスケート	ART ON ICE 2013 in JAPAN (6/1-2)
体操	第52回 NHK 杯体操競技選手権 (6/8-9)
コンサート	JUUU BEST STORY ARENA TOUR 2013 (6/20-21)
チャリティー	第15回 関東選手権大会 (6/22-23)
フェンシング	第66回全日本選手権 (個人戦) (6/28-30)

代々木第二体育館

フットサル	MIFA presents YOYOGI CUP (5/2)
バスケット	第62回関東大学バスケットボール選手権大会 (5/6-12)
卓球	関東学生春季卓球リーグ戦 (5/13-14)
バスケット	第47回関東大学女子バスケットボール選手権大会 (5/16-19)
バレーボール	スポーツ祭東京 2013 第13回全国障害者スポーツ大会リハール大会 (5/25-26)
太極拳	第3回全日本健身気功・太極拳練功大会 (5/30)
空手	2013 全関東空手道選手権大会 (6/2)
バスケット	第71回早稲田大学 vs 慶応大学 バスケットボール定期戦 (6/8)
バスケット	関東実業団バスケットボールリーグ戦 (6/9、29-30)
バスケット	第53回関東大学バスケットボール新人戦 (6/10-13)
レスリング	明治杯平成25年度全日本選抜レスリング選手権大会 (6/15-16)
空手	2013 全世界空手道型競技選手権大会 / 全日本ウェイト制空手道 選手権大会 / 全日本高校生ウェイト制空手道選手権大会 (6/23)
バスケット	関東大学女子バスケットボール新人大会 (6/24)

● スケジュールは変更になる場合がありますので、ウェブサイト等で必ずご確認ください。 ●
【ドメインの変更のお知らせ】

2013年1月からウェブサイトのURLが変更となりましたのでご注意ください。 <http://www.jpnsport.go.jp>

国立競技場 (☎ 03-3403-1151) 国立代々木競技場 (☎ 03-3468-1171)

秩父宮ラグビー場 (☎ 03-3401-3881)

味の素フィールド西が丘 (スポーツ科学センター) (☎ 03-5963-0203)

編集後記

「五月病」という言葉を最近聞かなくなりました。うつ病が国民病に加えられたことで、もはや季節を象徴する事象ではなくなったのでしょうか？ それにしても、この季節はいろいろ闘わなければならないものが多いことには変わりありません。花粉(イネ科)、新しい上司や部下、健康診断後の保健指導、ゴールデンウィークの混雑……。現代人は様々なストレスに打ち勝てなければ生きていけません。言い古された言葉でも廃れないものがあります。「ストレス発散はスポーツで!」。余暇の過ごし方が多様化する現代ですが、心をリフレッシュするとともに、身体も鍛えられるスポーツは、誰もがその効用を認めるどころです。ただ、問題は時間の確保と継続する根気……あらあら、まだまだ闘うものが増えてしまいうそですね。(S)

国立競技場 第597号

2013年5月1日発行 (隔月発行)

●編集・発行

独立行政法人日本スポーツ振興センター 広報室

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町10番1号

tel 03-5410-9121

※2012年10月1日より発行部署が変わりました。

●編集協力 株式会社ジャニス

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。